

IND-5502-0206

アンチラストP-1300

溶剤希釈形長期さび止め油

ベアリング用のさび止め油には、さび止め性能はもちろん、酸化安定性、潤滑性など最も厳しい性能が要求されます。アンチラストP-1300は長年にわたる研究により開発されたもので、その性能の優秀性は各方面より絶大なるご評価をいただいています。アンチラストP-1300は、ベアリングはもちろんのこと、各種精密機器のさび止め油として最適の商品です。

●特 長

1. さび止め性能が優れています

アンチラストP-1300は溶剤が揮発した後、ペトロラタム状の軟質膜をつくり、優れたさび止め性能を発揮します。ベアリングはもちろんあらゆる機械部品のさび止め油として多くの使用実績をもち、また、十分なさび止め処理を施し包装、保管されたものは、1年以上のさび止め性能を発揮することが、実証されています。

2. 耐金属腐食性が優れています

ベアリングのリテーナには各種の金属材料が使用されています。このため、アンチラストP-1300は、耐金属腐食性に細心の注意がはらわれています。

3. 被膜が固化しにくく、酸化安定性に優れています

さび止め被膜が固くなると、被膜にき裂がはいり、さびやすくなったり、潤滑性がなくなったりしますが、アンチラストP-1300は酸化安定性に優れていますので、被膜が固くなることはありません。

4. 透明でべとつきの被膜を形成します

アンチラストP-1300はペトロラタム状の透明な軟質膜を形成しますが、さび止めペトロラタムと比較してべとつきの少ない被膜です。

5. 低粘度で消費量が少ない

アンチラストP-1300は、浸せき、スプレーなどの能率的な塗布作業方式に適しています。また、粘度が低いため、被膜が薄く経済的です。

●用 途

ベアリング、精密機械部品、小形機械部品の長期さび止め用

●塗布方法

浸せき、スプレー、はけ塗り

●荷 姿

200lドラム、20lペール缶

●アンチラストP-1300の代表性状

外 観			淡黄色不透明
密度 (15°C)	g/cm ³		0.827
引 火 点 (PM)	°C		43
粘 度 (25°C)	mPa·s		12
膜 厚	μm		10
水 置 換 性 (JIS K2246)			さび無し
金属腐食試験 (JIS K2246 NP-3)			合格
湿 潤 試 験 (A級保持時間)	h		1,000以上
塩水噴霧試験 (A級保持時間)	h		48以上

※代表性状値は、商品の改定により、予告せずに変更場合があります。
(2002年6月)

■保管に関してのご注意

長期間保管しますと、分離する場合がありますので、よく攪拌してからご使用ください。

夏期、高温状態(40°C以上)にさらされると、室温にもどしても油膜強化剤が良好な分散状態を示さず、分離を引き起こしやすくなります。

冬期などに寒い場所に放置されますと、常温で溶解している油膜強化剤が析出し、見掛け粘度が高くなり固化するので、できるだけ屋内に保管してください。



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

 警告	●静電気による火災が起こる可能性があります。取り扱う際はアースをして静電気を取り除いて下さい。 ●可燃性の液体であり、蒸気は火災、爆発を起こすことがあります。火気を近づけないで下さい。 ●蒸気を吸入すると吐き気、頭痛、めまいを起こすことがあります。局所排気装置、呼吸器具等により蒸気を吸わないようにして下さい。
 注意 取 扱 上 の 注 意 事 項	●目に入ると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護眼鏡等を用い目に入れないようにして下さい。 ●皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は保護手袋を使用する等皮膚に触れないようにして下さい。 ●飲まないで下さい（飲むと下痢、嘔吐します）。 ●子供の手の届かない所に置いて下さい。 ●使用に際しては、事前に当該油種の「製品安全データシート」（MSDS）を参照して下さい。「製品安全データシート」については商品購入先にご用命願います。
応 急 処 置	●目に入った場合は、清浄な水で刺激がなくなるまで洗い、医師の診断を受けて下さい。 ●皮膚に触れた場合は、水と石けんで十分に洗って下さい。 ●飲み込んだ場合は、無理に吐き出さずに、直ちに医師の診断を受けて下さい。 ●蒸気を吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移り、身体を毛布などで覆い、保温して安静を保ち、医師の診断を受けて下さい。
廃 油 ・ 廃 容 器 の 処 置	●空容器に圧力をかけないで下さい。圧力をかけると破裂することがあります。 ●容器は溶接、加熱、穴あけまたは切断しないで下さい。爆発を伴って残留物が発火することがあります。 ●処理方法は法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理して下さい。 不明な場合は購入先にご相談のうえ処理して下さい。
保 管 方 法	ゴミ、水分などの混入および蒸発防止のため使用後は密栓して下さい。 直射日光を避け、冷暗所に保管して下さい。